

消防学校だより

令和元年9月号

発行年月日 令和元年9月30日
発行 宮崎県消防学校

★消防実務

9月3日(火)、昨年度初任科を卒業した、宮崎市消防局 戸高達郎 消防士に卒業後、所属に戻り何が必要か、何をやるべきかを自身の経験を交え、先輩消防士として話していただきました。最も身近な先輩の話は初任科生に良い刺激となりました。



★査察実習

イオンモール宮崎の協力を得て、査察実習を行いました。県内最大級の建築物ということもあり、あらゆる消防設備が設置してありイオンモールの担当者から丁寧に説明していただきました。消防設備等の教本に記載してある設備を実際に見ることができ、設備のイメージが出来たと思います。

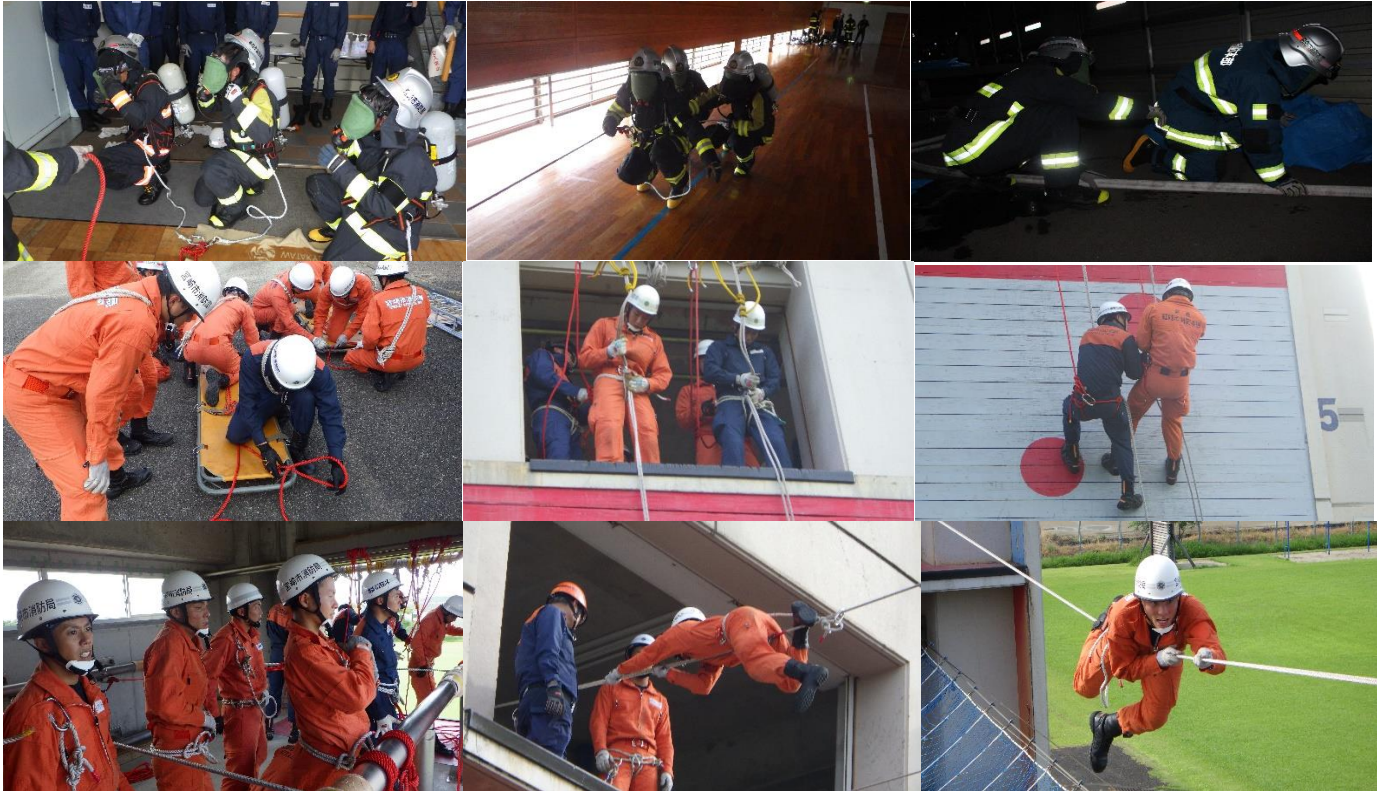


★消防活動訓練

屋内検索訓練、緊急脱出訓練及び基本救助訓練を実施しました。

火災現場等、災害現場への侵入を的確にできることはもちろんですが、入ったらしっかりと脱出できる事が最も重要です。

視界を奪われた場合、方向を見失った場合の脱出訓練も行っています。



★運動整理

全日本柔道男子のコーチをされている日本体育大学 岡田准教授より講義をしていただきました。

講義は、身体の造り方、食事や睡眠等の大切さについて話していただきました。

身体が資本の消防職員にとって、この職を辞するまで現場活動に耐え得る身体を維持していくことは必要なことです。

しっかりと学んだことを自分自身のものにしてもらいたいです。



★山岳における消防活動訓練・救助訓練

山岳における消防活動訓練を好隣梅で実施しました。

本県は、県土面積の76%を森林が占めており、山での活動を知る事は宮崎県内の消防職員にとって必要なことです。

コンクリートで加工されていない傾斜のある山間部での訓練は良い経験となりました。

プレスリリースの効果もあり、訓練当日は数社からの取材がありました。

学校長への訓練開始報告



傾斜地での中継放水訓練



傾斜地での救助訓練



★双石山登山

宮崎市加江田の双石山で登山訓練を実施しました。

社会環境の変化に伴い人々の余暇の過ごし方も多岐に渡っており、人の行く場所、活動する場所では要救助者の発生する可能性が十分にあります。

登山をする高齢者の方も増えており、山岳での捜索や救助は全国各地で毎年発生しており、山の登り方、活動の仕方を学ぶ事も必要です。

初めて登山をする学生が多く、山の登り方を学ぶ良い機会となりました。



★視察研修

9月25日(水)から同月27日(金)の2泊3日で、視察研修を実施しました。

主な視察先は、東日本大震災で被害を受けた福島県双葉郡(双葉広域消防本部、福島県ふたば医療センター附属病院)と、横須賀米軍基地内消防隊を視察してきました。

双葉広域消防本部 富岡消防署では震災対応に当たった職員の方から当時の話を聞き、震災への備えの重要性を感じたことと思います。

また、米軍基地内消防隊の車両資機材は、米国仕様となっており地域の実情に応じ車両等の仕様が異なることを学びました。





いよいよ、来月には第 64 期初任科生卒業となります。

10 月の主な行事予定

10 月 11 日(金)

10 月 19 日(土)・20 日(日)

10 月 23 日(水)

10 月 26 日(土)・27 日(日)

10 月 29 日(火)・30 日(水)

初任科卒業式

消防団普通科 1 次

救急科

消防団普通科 2 次

消防団普通科 3 次 (女性団員)

宮崎県消防学校

担 当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電 話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp